

全業種総合

回答企業数291企業（回答率100.00%）

概況

～総合的業況判断DI値 前期比改善となる～

総合的業況判断DI値は、前期比26.1ポイント改善の3.1となった。

業種別での業況判断DI値は、飲食業が57.9ポイント上昇の47.4、製造業が39.4ポイント上昇の3.0、サービス業が38.1ポイントの上昇で11.9、卸売業が31.0ポイント上昇の0.0、不動産業が22.2ポイント上昇の22.2、小売業が19.8ポイント上昇で▲3.3、建設業が15.6ポイント上昇で▲10.3となった。一方で運輸業は20.0ポイント低下の10.0となり改善が7業種、悪化が1業種の結果となった。

～経営上の問題点～

業種全体で「材料価格の上昇」106先、「売上の低迷・減少」86先、「利幅の縮小」86先、「人員不足」84先、「経費の増加」70先と上位を占めた。

前回調査比、「材料価格の上昇」19先減少、「売上の低迷・減少」が10先減少、「利幅の縮小」は7先増加、「人員不足」7先増加、「経費の増加」5先減少となった。他に、「その他（新型コロナウイルス感染症の影響）」は6先減少の4先となった。

設備投資計画では、「予定あり」とした企業が44先、前期比2先増加、設備投資実施予定割合は15.1%と前期比0.7%増加した。業種別では、運輸業（土地・建物）40.0%、製造業（土地・建物・機械）24.2%、飲食業（建物・機械）15.8%、小売業（建物・機械）11.0%、建設業（機械・その他）10.3%、卸売業（土地・建物・機械・その他）6.9%となった。

資金繰りDI値は、前回調査比12.0%上昇の▲5.2と改善傾向にあり、今期借入した企業は14.8%と前回調査時（18.6%）より3.8%低下となった。

来期の見通し

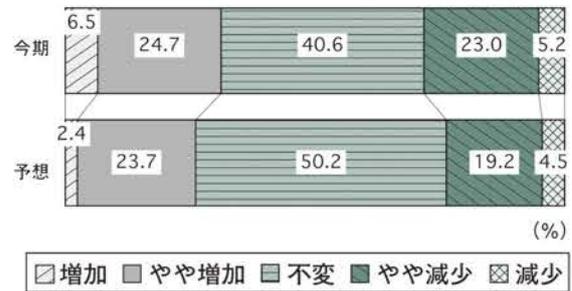
～総合的業況判断DI値 横ばいの見通し～

各業種の見通し業況判断DI値は、今回調査比0.7ポイント低下の2.4とやや悪化の予想となった。

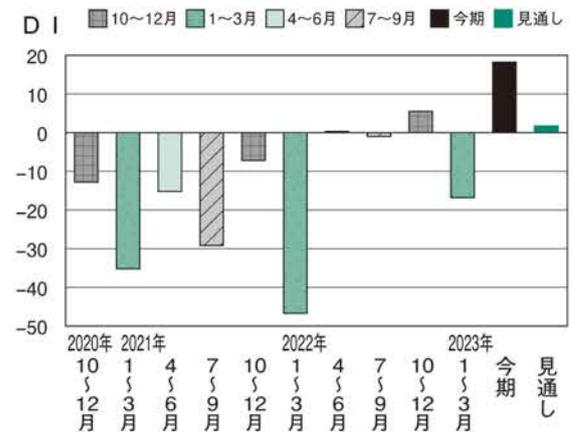
業種別では、運輸業が10.0ポイント上昇の20.0、建設業が8.6ポイント上昇の▲1.7、飲食業が0.0ポイント横ばいの47.4、不動産業が0.0ポイント横ばいの22.2、卸売業が0.0ポイント横ばいの0.0、サービス業は9.5ポイント低下の2.4、製造業も9.1ポイント低下の▲6.1、小売業も1.1ポイント低下の▲4.4と、来期の見通しは上昇が2業種、横ばいが3業種、低下が3業種となった。

今期資金手当てした先が14.8%であったが、今後資金手当て等借入を予定している先は18.6%となっている。

業況判断（全業種）



売上・受注DI値の推移



各DI値の推移



設備投資計画の有無

